

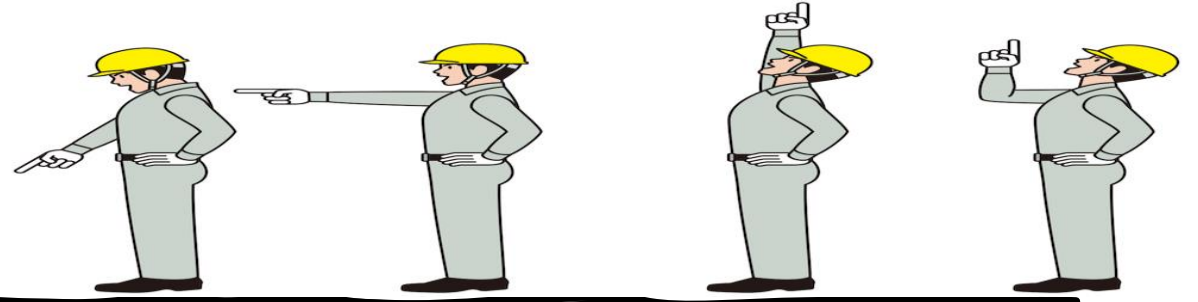
KY活動には

(KYKとKYTの区別)

- KYK（危険予知活動）は「現場の作業直前」に現場で作業の危険性について話し合い、対策と行動目標を立てること。
- KYT（危険予知訓練）は現場作業のために、「事前」に研修室や事務所などで行うもので、危険を予測し指摘しあうこと。

現場で行うか、研修室や事務所などで行われるかの違いはありますが、どちらも安全な現場を作るために重要な活動です

KY活動の目的



- 現場にどのような危険が存在するかを知ること
- 危険をどのように回避するかを知り、対策を立てること
- 立てた対策をどのように実現するか考えること
- 労災について知り、それが起きないように安全意識を高めること